

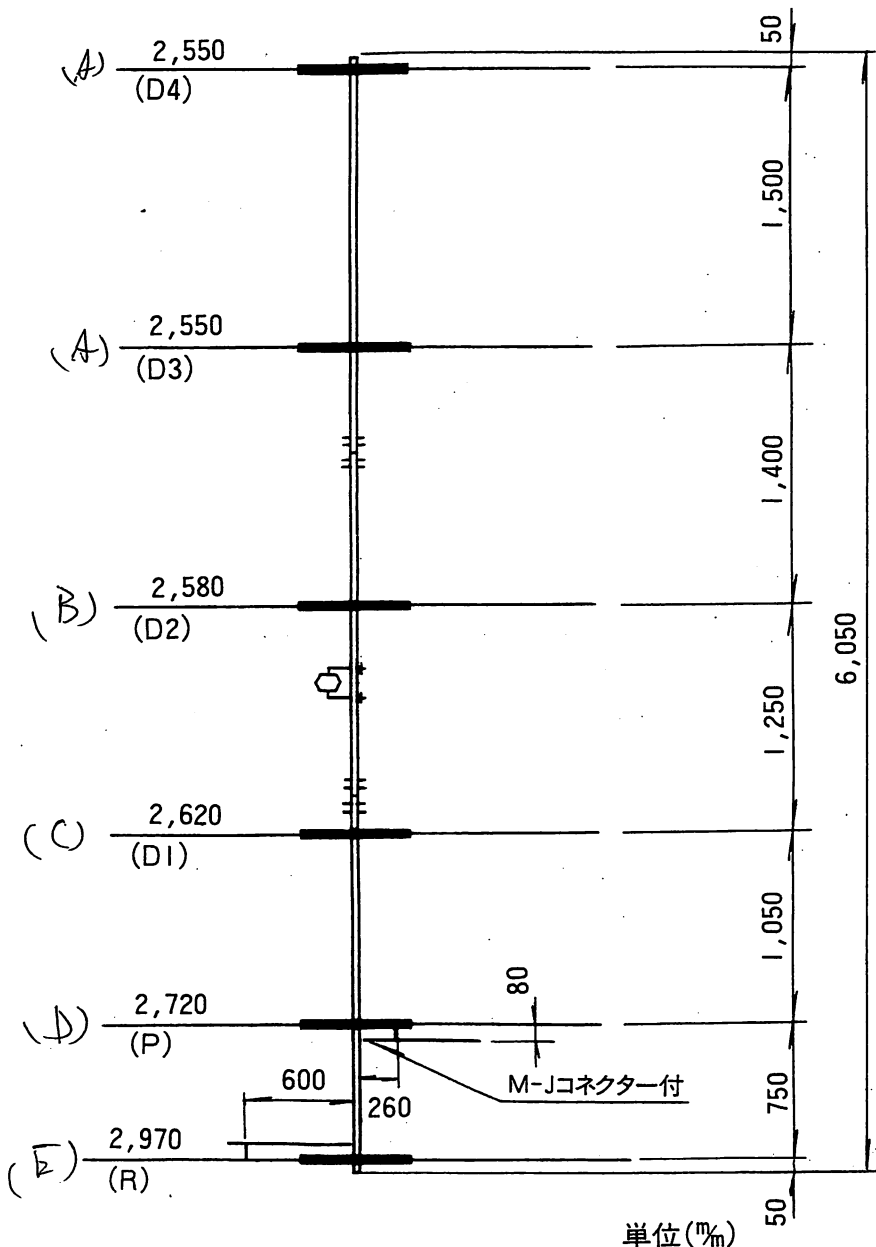
# 取扱説明書

COMET ANTENNA

## 50MHz 6エレ HB9CVアンテナ MODEL CA-52HB6

このたびは、高性能固定局ビームアンテナをお買上げいただき誠にありがとうございます。  
本品は厳重なる品質管理により生産されております。万一運送中の事故により破損がありましたら取扱店にお申しつけ下さい。

### 組立寸法図



### 【特長】

- 2エレメント同時給電タイプのHB9CVアンテナで、さらに4本導波器をつけ加えていますので、6エレながら、7エレ八木に匹敵する利得の高いアンテナで、FB比も優れています。
- CA-52HB6は、無調整で帯域幅3MHzをカバーする広帯域アンテナです。
- アンテナ全体を軽量化していますので、設置する事が容易です。
- ビス・ナット類は、すべてステンレス部品を使用していますので、耐久性が抜群です。又、エレメントブラケット、クロスマウント等には、ダイカスト製を使用し、安定性、強度を備えた信頼できるアンテナです。

## ● 部品明細

番号	部品名	数量	規格	番号	部品名	数量	規格	番号	部品名	数量	規格
1	ブームA	2	32φ×2025	11	調整棒(2)	1	コネクタ無	21	U字ボルト(小)	2	ステンレス補強板付
2	ブームB	1	32φ×2000	12	Y字ボルト	2	ステンレス補強板付	22	六角ボルト	8	M 6×40
3	ジョイントブーム	1	30φ×2500	13	U字ボルト(中)	4	ステンレス補強板付	23	六角ボルト	24	M 4×20
4	中心エレメント	6	16φ× 600	14	フェーズライン	1	端子付	24	六角ボルト	4	M 4×10
5	エレメントA	4	13φ×1015	15	ショートバー(A)	2	放射器(P)用	25	六角ナット	42	M 6
6	エレメントB	2	13φ×1030	16	ショートバー(B)	2	反射器(R)用	26	六角ナット	28	M 4
7	エレメントC	2	13φ×1050	17	エレメントブラケット	6	ダイカスト	27	スプリングワッシャー	30	M 6用
8	エレメントD	2	13φ×1100	18	ブラケットカバー	6	ステンレス	28	スプリングワッシャー	28	M 4用
9	エレメントE	2	13φ×1225	19	クロスマウント	1	ダイカスト	29	ステーロープ	2	5 m
10	調整棒(1)	1	コネクタ付	20	角U字ボルト	2	ステンレス	30	取扱説明書	1	

## 組立方法

### 1. ブームの組立

ブームBの中に、ジョイントブームを挿入して穴位置を合わせて、六角ボルト(M6×40)で仮止めしてください。次に、ブームAをブームBの両端に差し込み、穴を合わせて、六角ボルト(M6×40)締め付けてください。仮止めしたボルトもしっかり締め付けてください。(図-1参照)

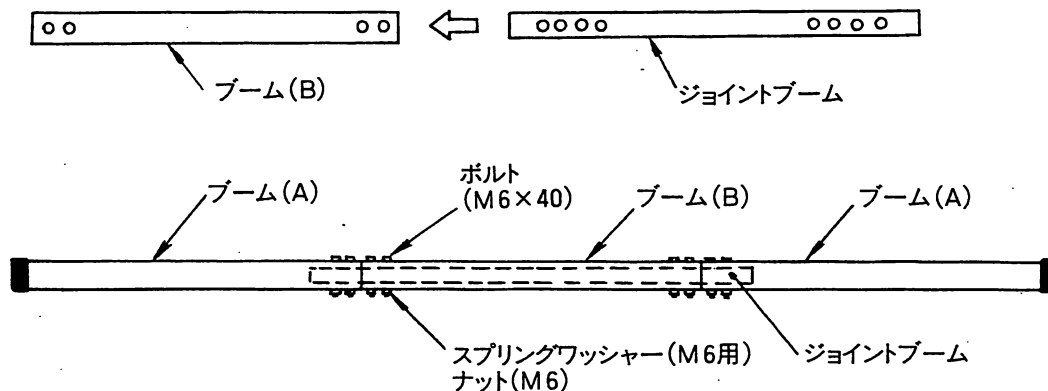


図-1

### 2. エレメントの組立

中心エレメントの両端に、エレメント(A)～(E)を差し込み、穴を合わせて六角ボルト(M4×20)で、しっかり締め付けてください。(図-2参照)

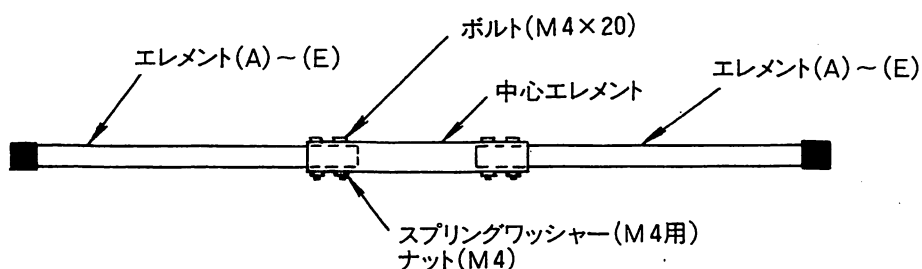


図-2

### 3. エレメントのブームへの取付

#### ① エレメント (D<sub>1</sub>~D<sub>4</sub>)

エレメントをエレメントブラケット及びブラケットカバーにてはさみ、ブームにのせ、反対側からU字ボルト (中) を使い、ブームに固定します。(仮止め)

取付位置及びエレメント長は組立寸法図を参照して正しく取り付けてください。

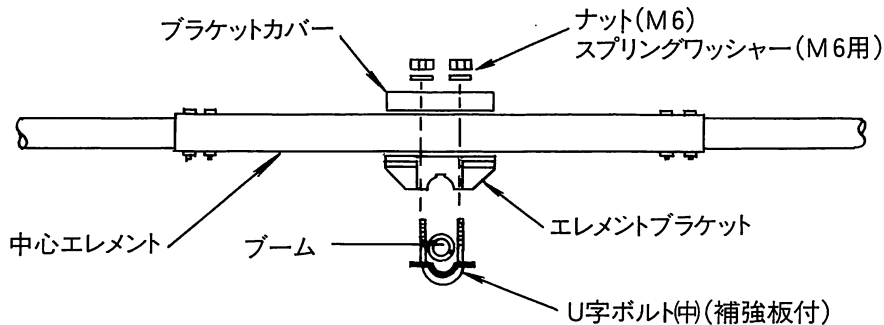


図-3

#### ② 放射器 (P) 及び反射器 (R) エレメント

放射器エレメントをエレメントブラケット及びブラケットカバーにてはさみ、ブームにのせ、反対側からY字ボルトを使い、ブームに固定します。(仮止め) 取付位置は組立寸法図を参照してください。

次に、Y字ボルトにナット (M 6) を奥まで入れ、その上から調整棒(1) (コネクター付) を図-4 の様に差し込み、スプリングワッシャー、ナットにて固定します。その時、調整棒の中心とエレメントの中心との間隔が80mm (平行) になる様に、Y字ボルトのナットで調整してください。。

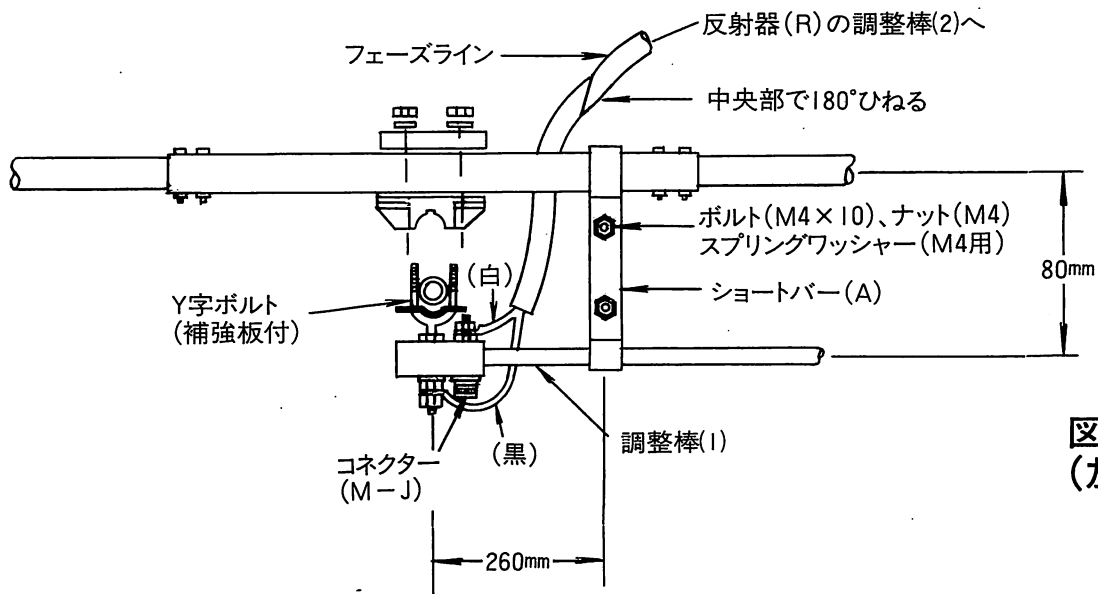


図-4  
(放射器)

そして、ショートバー (A) をブームの中心から260mmの位置に六角ボルト (M4×10) にて、移動しない様にしっかり固定してください。(図-4 参照)

又、フェーズラインも図-4 の様に、ナットで圧着端子をはさみ固定してください。

次に、反射器 (R) も放射器と同様に取り付けます。ただし、調整棒(2)の取付方向は放射器と反対側にします。

そして、ショートバー (B) をブームの中心から600mmの位置に六角ボルト (M4×10) にて、移動しない様にしっかり固定してください。(図-5 参照)

フェーズラインは、放射器 (P) から来たものを、ナットで圧着端子をはさみ固定してください。

⑨ フェーズラインは、中央で180°ひねる (位相反転)

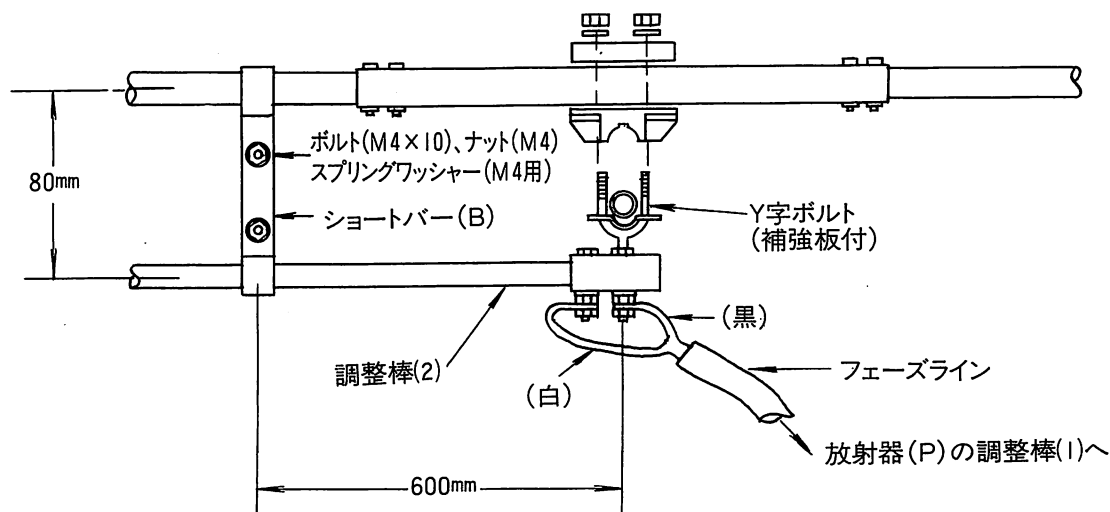


図-5  
(反射器)

⑩ 全部のエレメントがブームに取り付けが終了しましたら、ブームの先端から見て各エレメントが平行になる様にして、仮止めしてあったナットを締め付けてください。

#### 4. クロスマウントの取付

クロスマウントのブームへの取付は、U字ボルト(小)を使用し、D<sub>1</sub>とD<sub>2</sub>の中央より、ややD<sub>2</sub>よりの重量バランスの良い所に取り付けてください。(組立寸法図参照)

#### 5. マスト取付上の注意点

CA-52HB6のブーム中央部は、パイプを二重構造として補強しておりますが、雪の多い地方、強風がよく吹く場所でお使いのときは、マスト上部よりステー線(ナイロンロープ付属品等)をとり、つり上げてお使いください。尚、通常の使用状態では必要ありませんが、ステーがある方がより安全です。

## 6. VSWRの調整方法

組立寸法図通りに組立てていただければ、そのままご使用になれます。

もし、ご使用になる周波数で、VSWRが高い場合は、ショートバーのネジをゆるめ、位置を変えて調整してください。この時、スライドさせるショートバーは、放射器 (P) のみで周波数が変化します。(ショートバーを、内側に入れると周波数は低く、外側に出すと高く変化いたします。)

尚、設置場所によりVSWRは多少変化しますので、VSWRが高い時は、設置場所を変更してください。

## 7. ご使用上の注意点

固定局でご使用の際は、コネクター部分に自己融着テープを、約1.5倍程度の長さに伸ばして巻き、その上からビニールテープを巻いて、防水処理を行ってください。

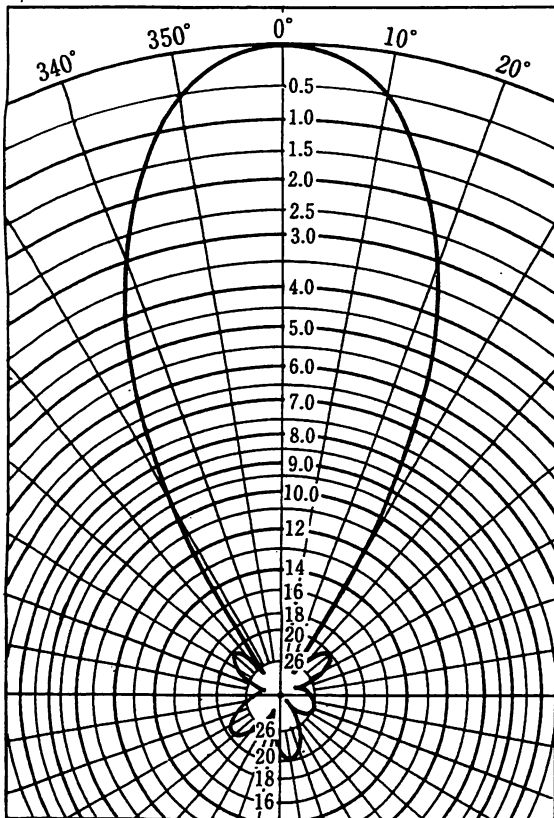
アンテナの設置に際しては、なるべく建物その他、障害物等の少ない場所を選んでください。

## 定 格

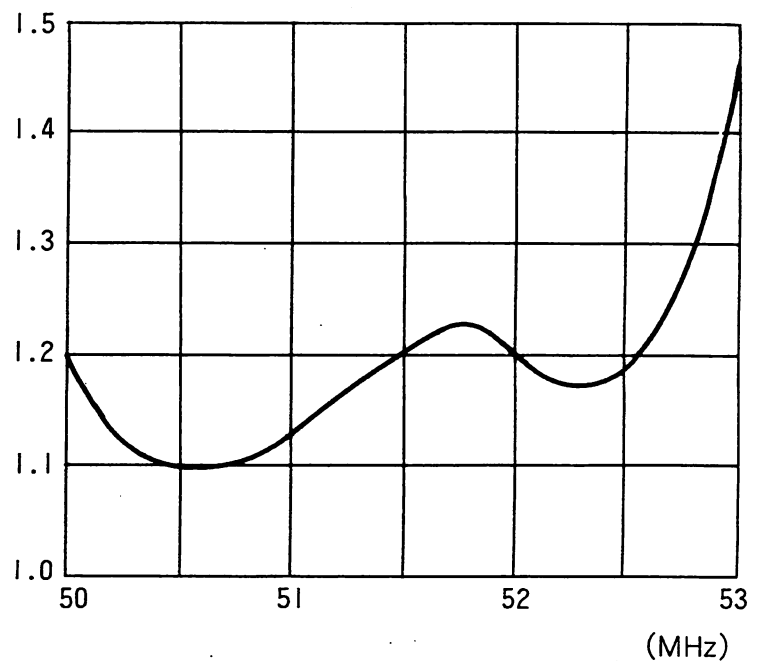
型 式	6エレメント HB9CV	コネクター	M-J型
周 波 数	50MHz帯	回 転 半 径	3.6m
入カインピーダンス	50Ω	受 風 面 積	0.43m <sup>2</sup>
V S W R	1.5以下(50~53MHz)	大 き さ	6,050×2,970mm
利 得	13.4dBi	耐 入 力	400W (SSB)
電 力 半 値 角	40.5°	適 合 マ ス ト 径	32φ~65φ
F B 比	20dB	重 量	6.3kg

(アマチュア無線免許申請のアンテナ型式……………八木型)

### ビームパターン



### VSWR特性



(実測による) (ショートバー標準寸法時)

## コメット株式会社

本 社：〒336 埼玉県浦和市辻4-18-2 ☎048-839-3131(代) FAX. 048-839-3136  
 大阪営業所：〒560 大阪府豊中市螢池東町4-1-15 ☎06-844-0693 FAX. 06-853-2011  
 仙台営業所：〒982-01 仙台市若林区上飯田横堀87-1 ☎022-285-9506 FAX. 022-285-9507  
 福岡営業所：〒816 福岡市博多区井相田2-2-5 第3七福ビル ☎092-592-2531 FAX. 092-592-2532  
 札幌営業所：〒004 北海道札幌市厚別区厚別南4-34-3 ☎011-892-7575 FAX. 011-892-7571

性能向上の為、予告なく外観、仕様を変更する事があります。